



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 龍巳
 (氏名) 今井 信一

TEL 03-6362-8801

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	30,673	△5.8	108	△21.3	101	△40.0	7	△93.7
27年3月期第3四半期	32,565	6.5	138	△55.7	168	△51.7	126	△54.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △331百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 602百万円 (△33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.50	—
27年3月期第3四半期	8.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,208	12,213	40.0
27年3月期	27,285	12,681	43.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,297百万円 27年3月期 11,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	△6.3	330	36.4	340	42.0	160	△26.7	10.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	15,758,994 株	27年3月期	15,758,994 株
28年3月期3Q	53,206 株	27年3月期	52,502 株
28年3月期3Q	15,706,099 株	27年3月期3Q	15,709,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による各種政策、円安基調の継続、原油安等に伴い、企業業績の上振れ期待や、雇用情勢の回復もあり、概ね緩やかな回復基調で推移したものの、円安による物価上昇等により消費者マインドが低迷したほか、製造業を中心に中国経済減速の影響もあり、全体としては力強さに欠ける展開となりました。

このようななか当社グループにおいては、国内販売は、自動車産業向けで底堅さがうかがえたものの、中国経済減速等の影響から、全体としては想定を下回ることとなりました。また、東南アジア地区は域内全体で景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩みました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は 30,673 百万円(前期比 5.8%減)、経常利益は 101 百万円(前期比 40.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円(前期比 93.7%減)となりました。

② 企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

日本は国内景気の緩やかな回復により秋口からは持ち直し傾向となるものの、中国経済の減速や個人消費の回復の遅れ等を背景に厳しさの残る展開となりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックは比較的底堅さがうかがえたものの、中国経済減速等の影響により、想定を下回る結果となりました。樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩むなか、一部の自動車産業向けやトイレタリー関連が比較的堅調に推移し、家電産業向けフィルムも回復傾向となりましたが、伸び悩む結果となりました。加工カラー部門は、液体分散体においては比較的堅調に推移したものの、全体では想定までには至りませんでした。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 17,729 百万円(前期比 2.8%減)、営業損失は 33 百万円(前期営業損失 52 百万円)となりました。

東南アジア

東南アジアは、中国経済減速の影響等で域内全体に景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩みました。当第3四半期連結累計期間の売上高は 12,154 百万円(前期比 9.3%減)、営業利益は 152 百万円(前期比 21.9%減)となりました。

その他

その他は、中国経済減速の影響から日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第3四半期連結累計期間の売上高が 790 百万円(前期比 14.7%減)、営業損失は 10 百万円(前期営業損失4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は28,208百万円と前期末の27,285百万円に比べ923百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は14,616百万円と前期末の13,437百万円に比べ1,179百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が449百万円、受取手形及び売掛金が360百万円、原材料及び貯蔵品が149百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は13,591百万円と前期末の13,847百万円に比べ256百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が73百万円、退職給付に係る資産が80百万円それぞれ増加したものの、有形固定資産が382百万円減少したことなどによるものです。

負債は15,995百万円と前期末の14,603百万円に比べ1,392百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,982百万円と前期末の10,821百万円に比べ1,160百万円の増加となりました。この主な要因は賞与引当金が73百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が810百万円、短期借入金が498百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は4,012百万円と前期末の3,781百万円に比べ231百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が144百万円、繰延税金負債が63百万円それぞれ増加したことなどによるものです。また、純資産は12,213百万円と前期末の12,681百万円に比べ468百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が195百万円増加したものの、利益剰余金が117百万円、為替換算調整勘定が562百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における通期の業績予想につきましては、平成27年10月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,339	3,050,740
受取手形及び売掛金	6,711,353	7,071,976
製品	2,132,739	2,135,151
原材料及び貯蔵品	1,609,497	1,758,889
その他	383,048	601,123
貸倒引当金	△835	△896
流動資産合計	13,437,144	14,616,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,077,234	2,823,357
土地	3,665,603	3,619,128
その他(純額)	1,812,500	1,730,211
有形固定資産合計	8,555,339	8,172,698
無形固定資産	46,524	44,775
投資その他の資産		
投資有価証券	4,625,492	4,698,699
退職給付に係る資産	132,895	213,502
その他	501,565	475,541
貸倒引当金	△13,865	△13,865
投資その他の資産合計	5,246,089	5,373,877
固定資産合計	13,847,953	13,591,352
資産合計	27,285,097	28,208,335
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,694,369	6,504,801
短期借入金	3,876,908	4,375,266
未払法人税等	73,731	54,281
賞与引当金	197,852	124,149
その他	978,829	923,995
流動負債合計	10,821,691	11,982,495
固定負債		
長期借入金	2,608,178	2,752,654
繰延税金負債	746,097	809,506
役員退職慰労引当金	71,848	79,948
退職給付に係る負債	355,293	370,681
固定負債合計	3,781,417	4,012,789
負債合計	14,603,108	15,995,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	8,104,031	7,986,321
自己株式	△15,799	△15,970
株主資本合計	10,617,091	10,499,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,074,953	1,270,483
為替換算調整勘定	220,757	△341,665
退職給付に係る調整累計額	△162,153	△130,619
その他の包括利益累計額合計	1,133,557	798,198
非支配株主持分	931,339	915,641
純資産合計	12,681,988	12,213,050
負債純資産合計	27,285,097	28,208,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	32,565,975	30,673,831
売上原価	30,215,579	28,338,291
売上総利益	2,350,395	2,335,540
販売費及び一般管理費	2,212,306	2,226,893
営業利益	138,089	108,646
営業外収益		
受取利息	7,641	10,238
受取配当金	54,068	62,304
持分法による投資利益	18,125	-
その他	73,431	76,619
営業外収益合計	153,267	149,162
営業外費用		
支払利息	79,347	76,027
持分法による投資損失	-	47,587
その他	43,506	33,168
営業外費用合計	122,853	156,782
経常利益	168,503	101,026
特別利益		
固定資産売却益	63,599	1,917
特別利益合計	63,599	1,917
特別損失		
固定資産除売却損	17,347	1,182
特別損失合計	17,347	1,182
税金等調整前四半期純利益	214,755	101,761
法人税、住民税及び事業税	36,888	43,683
法人税等調整額	36,102	28,295
法人税等合計	72,991	71,978
四半期純利益	141,764	29,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,176	21,840
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,587	7,942

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	141,764	29,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241,993	195,529
為替換算調整勘定	167,825	△442,780
退職給付に係る調整額	34,745	25,236
持分法適用会社に対する持分相当額	16,291	△138,885
その他の包括利益合計	460,855	△360,898
四半期包括利益	602,619	△331,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555,028	△327,417
非支配株主に係る四半期包括利益	47,591	△3,698

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,241,444	13,397,881	31,639,325	926,649	32,565,975	—	32,565,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,811	936	150,747	5,393	156,141	△ 156,141	—
計	18,391,255	13,398,817	31,790,073	932,042	32,722,116	△ 156,141	32,565,975
セグメント利益又は損失(△)	△ 52,940	195,622	142,681	△ 4,591	138,089	—	138,089

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,729,611	12,154,104	29,883,715	790,116	30,673,831	—	30,673,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123,054	444	123,498	—	123,498	△ 123,498	—
計	17,852,665	12,154,549	30,007,214	790,116	30,797,330	△ 123,498	30,673,831
セグメント利益又は損失(△)	△ 33,568	152,853	119,284	△ 10,637	108,646	—	108,646

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。